【明治5年創刊】明治25年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2017

MAINICHI
毎日新聞
8月23日（水）
2017年（平成29年）
発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051　電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

号外

花咲徳栄V

夏の甲子園 埼玉勢初

【花咲徳栄―広陵】初優勝しグラウンドで喜び合う花咲徳栄の選手たち＝阪神甲子園球場で23日、山崎一輝撮影

第99回全国高校野球選手権大会（日本高校野球連盟、朝日新聞社主催、毎日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力）は最終日の23日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で決勝を行った。出場5回目で初めて決勝に進んだ花咲徳栄（埼玉）が14―4で広陵（広島）を破り、埼玉県勢として初の優勝を果たした。春3回優勝の広陵は、佐賀北に敗れて準優勝だった2007年以来10年ぶりに決勝に進出したが、優勝はならなかった。

花咲徳栄	2	0	2	0	6	4	0	0	0	14
広　　陵	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4

花咲徳栄は今大会6試合連続で先発する右腕・綱脇、広陵は今大会4試合目の先発となる左腕・平元。花咲徳栄は一回、太刀岡の中前打、千丸の右越え二塁打で無死二、三塁とし、西川の二塁後方への適時打で2点を先制した。広陵は二回、1点を返した。花咲徳栄は五回、千丸の右前打で一、三塁とし、西川の右中間適時三塁打で2点を追加。野村の左前適時打で西川も生還した。広陵は2番手・山本にスイッチ。花咲徳栄は犠打で1死二塁とし、高井の右中間二塁打で1点。さらに敵失と岩瀬の左翼線適時打で2点を追加し、この回計6点を挙げた。花咲徳栄は九回、3者凡退。広陵は2死後に3番手・森が登板した。広陵は九回1死一塁から中村が左翼線二塁打。これで大会通算19安打で、大会記録に並んだ。さらに2死満塁とした。が、無得点。花咲徳栄が逃げ切った。

購読お申し込み　毎日新聞のニュースサイト https://mainichi.jp/　専用フリーダイヤル 0120-468012（ヨムハマイニチ）